



※山形県バイコロジをすすめる会の事業「視覚障がい者タンドム自転車サイクリング大会」・「肢体障がい者車椅子自転車サイクリング大会」の事業が、内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局より H29.9 月に「beyond 2020」の認証を受けました。

「やりがいを実感」  
ボランティア活動  
駅周辺で山形三中生  
山形三中(大江昌信校長)の3年生219人が10日、学区内のJR山形駅周辺でゴミ拾いや、捨てられたガムの除去、自転車マナー啓発のボランティア活動を行った。写真。

生徒は3班に分かれて活動。自転車班は県バイコロジをすすめる会員と協力

山形新聞  
2017年7月11日  
火曜日  
山形新聞社  
〒980-0001  
山形市東区東1-3-12  
TEL 023-622-1111  
FAX 023-622-1112  
©山形新聞社 2017

市福祉のまちづくり活動委員会(井上健一委員長)が呼び掛け、10年以上続く伝統行事。生徒からは「環境美化の意識が高まった」「ありがとうと言われ、やりがいを感じた」との感想も。ボランティア推進委員長 長柏倉光さん(14)は「予想以上にガムが落ちていて大変だった。終わると達成感がある」と話した。

し、歩道に置かれた自転車を整理したほか、高校生にポケットティッシュを配ってマナー向上を訴えた。ガム班は歩道に張り付いたガムをへらで丁寧に取り除き、ごみ班は通りでたばこの吸い殻や紙くずを拾った。

山形新聞と山形さくらんぼテレビ(フジTV系列)の取材が入った